

2013年12月期 決算説明会



2014年2月20日

<http://ideacon.jp/>

本資料は、当社の評価を行うための参考となる情報提供のみを目的としたものです。投資等の最終決定は、ご自身の判断でなさるようお願い致します。投資の結果等に対する責任は負いかねますのでご了承ください。

当資料に掲載されている予想数値あるいは将来に関する記述の部分は、資料作成時の判断ですが、その内容の完全性・正確性を会社として保証するものではありません。予想数値等は、今後の経済情勢等により、修正を行うことがあります。


<目 次>

- 1. 当社グループの紹介**
- 2. 決算のポイント**
- 3. 受注確保への取り組み**
- 4. 2014年12月期の計画**

< 1. 当社グループの紹介 >

1-1. 当社の概要

1-2. 当社グループの概要

1-3. 業務概要の紹介（ビデオにて紹介）

1-4. 当社のポジショニング

1-5. 主要顧客の概要

1-1. 当社の概要

- ◆ 名 称 いであ株式会社 (IDEA Consultants, Inc.)
- ◆ 本社所在地 東京都世田谷区駒沢
- ◆ 創業年月 1953年(昭和28年)5月
- ◆ 設立年月 1968年(昭和43年)9月
- ◆ 資本金 31億7,323万円
- ◆ 従業員数 879名(連結、2013年12月現在)
- ◆ 連結子会社 新日本環境調査(株)、沖縄環境調査(株)、東和環境科学(株)
- ◆ 事業概要 社会基盤の形成と環境保全の総合コンサルタント

1-2. 当社グループの概要

いであグループ

いであ+連結3社 879名

<連結子会社:3社>

新日本環境調査(株)

- ・水域、陸域環境調査
- ・環境アセスメントに係る
コンサルタント業務
- ・分析業務

沖縄環境調査(株)

東和環境科学(株)

- ・環境コンサルティング
- ・廃棄物対策
- ・土壌汚染対策

いであ(株)

767名
平均年齢 44.4歳

(株)Ides

寧波国科監測
技術有限公司

<非連結子会社:4社>

イーアイエス・ジャパン(株)

- ・環境計測機器の製造・販売・保守

ジーフォーム(株)

- ・土壌浄化装置等の開発・製造

日本設計サービス(株)

- ・成果品の製本印刷
- ・CAD図面の作成

以天安(北京)
科技有限公司

中持依迪亞(北京)
環境研究所有限公司(持分法適用)

<関連会社:3社>

2013年12月現在

1-3. 業務概要の紹介

◆ビデオにてご紹介いたします 

1-4. 当社のポジショニング

- ◆ 建設コンサルタント会社中の売上高順位は7位
- ◆ 「建設環境分野」の売上高順位は **1位をキープ**

順位	建設コンサル部門 全体	建設環境分野	港湾及び空港分野	河川,砂防および 海岸・海洋分野	復旧・復興業務
1	日本工営	いであ	パシフィックコンサルタンツ	建設技術研究所	応用地質
2	パシフィックコンサルタンツ	建設環境研究所	日本港湾コンサルタント	日本工営	建設技術研究所
3	建設技術研究所	環境総合テクノス	日本工営	パシフィックコンサルタンツ	パシフィックコンサルタンツ
4	オリエンタルコンサルタンツ	パシフィックコンサルタンツ	エコー	東京建設コンサルタント	国際航業
5	八千代エンジニアリング	日本工営	いであ	国際航業	パスコ
6	国際航業	アジア航測	オリエンタルコンサルタンツ	八千代エンジニアリング	日本工営
7	いであ	応用地質	ニュージェック	いであ	オオバ
8	日水コン	建設技術研究所	八千代エンジニアリング	ニュージェック	いであ
9	エイト日本技術開発	エヌエス環境	日本海洋コンサルタント	ドーコン	復建技術コンサルタント
10	ニュージェック	国際航業	三井共同建設コンサルタント	三井共同建設コンサルタント	八千代エンジニアリング

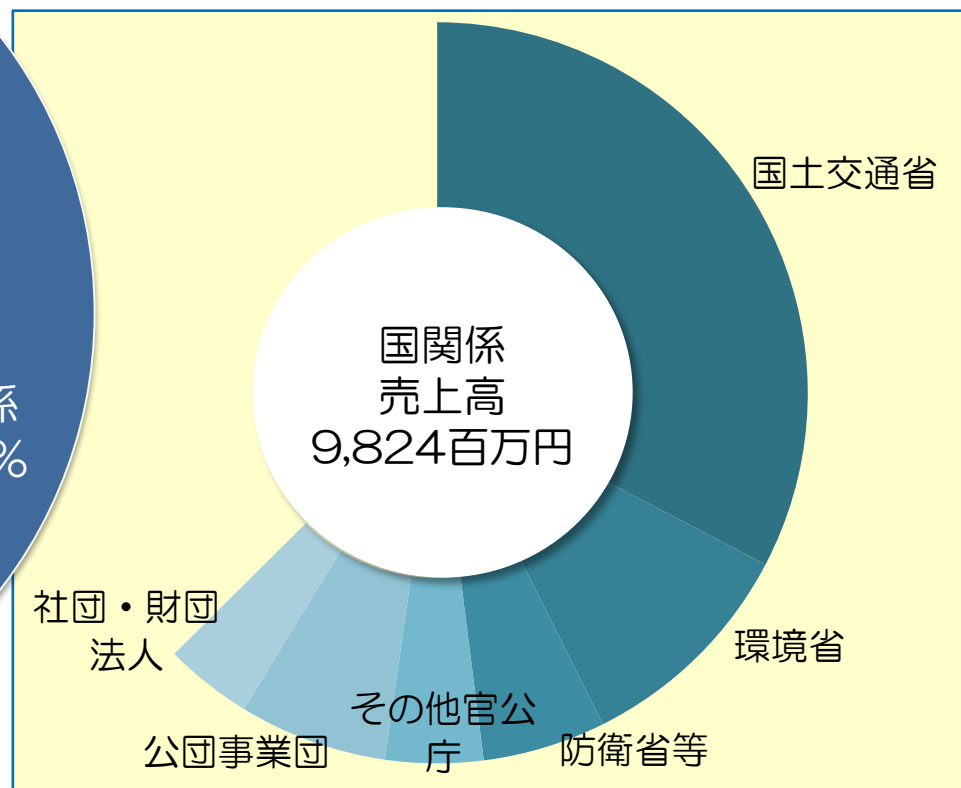
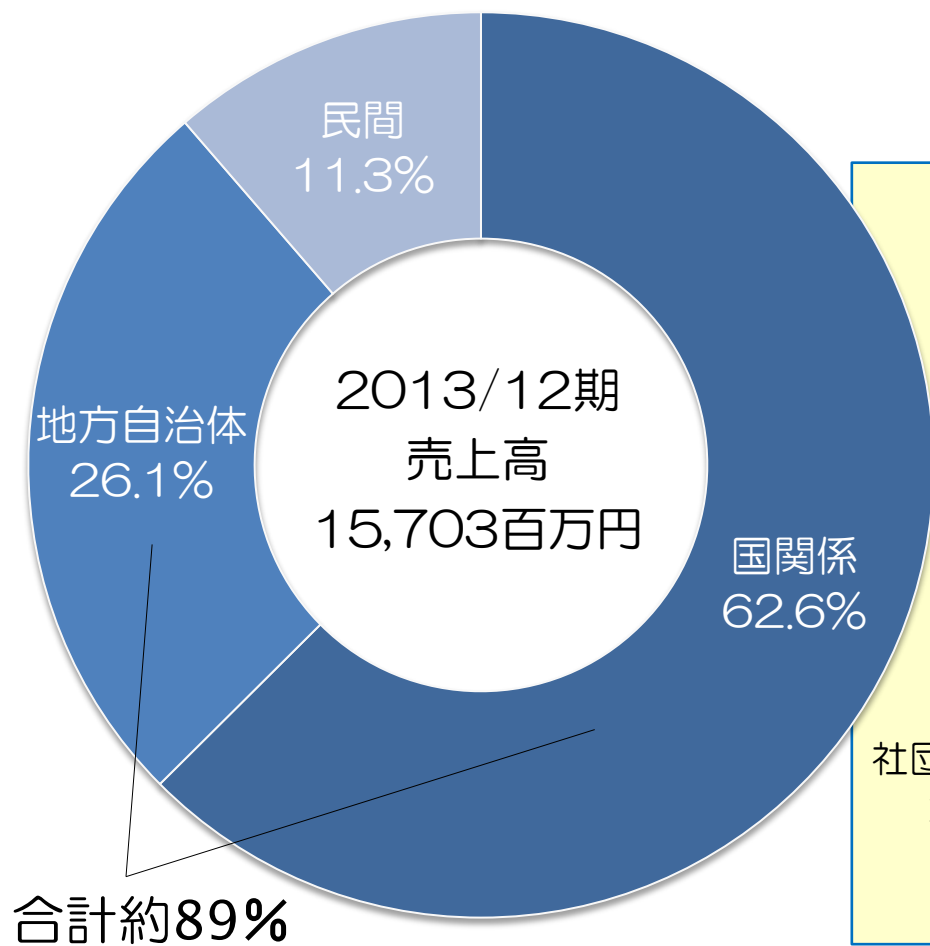
出典) 日経コンストラクション(2013.9.9)「建設会社・コンサルタント決算ランキング2013」

注1) いであ(株)単体のデータを提供。

2) データは2012年12月期。建設コンサルタント部門売上高 13,423百万円, 全体売上高 13,791百万円

1-5. 主要顧客の概要

- ◆ 「国関係」は約63%、「地方自治体」が約26%
- ◆ 「国・地方自治体」で約89%、残り11%が「民間」



< 2. 決算のポイント >

2-1. 2013年12月期 連結決算概要

2-2. 販売費及び一般管理費の推移

2-3. 連結貸借対照表

2-1. 2013年12月期 連結決算概要

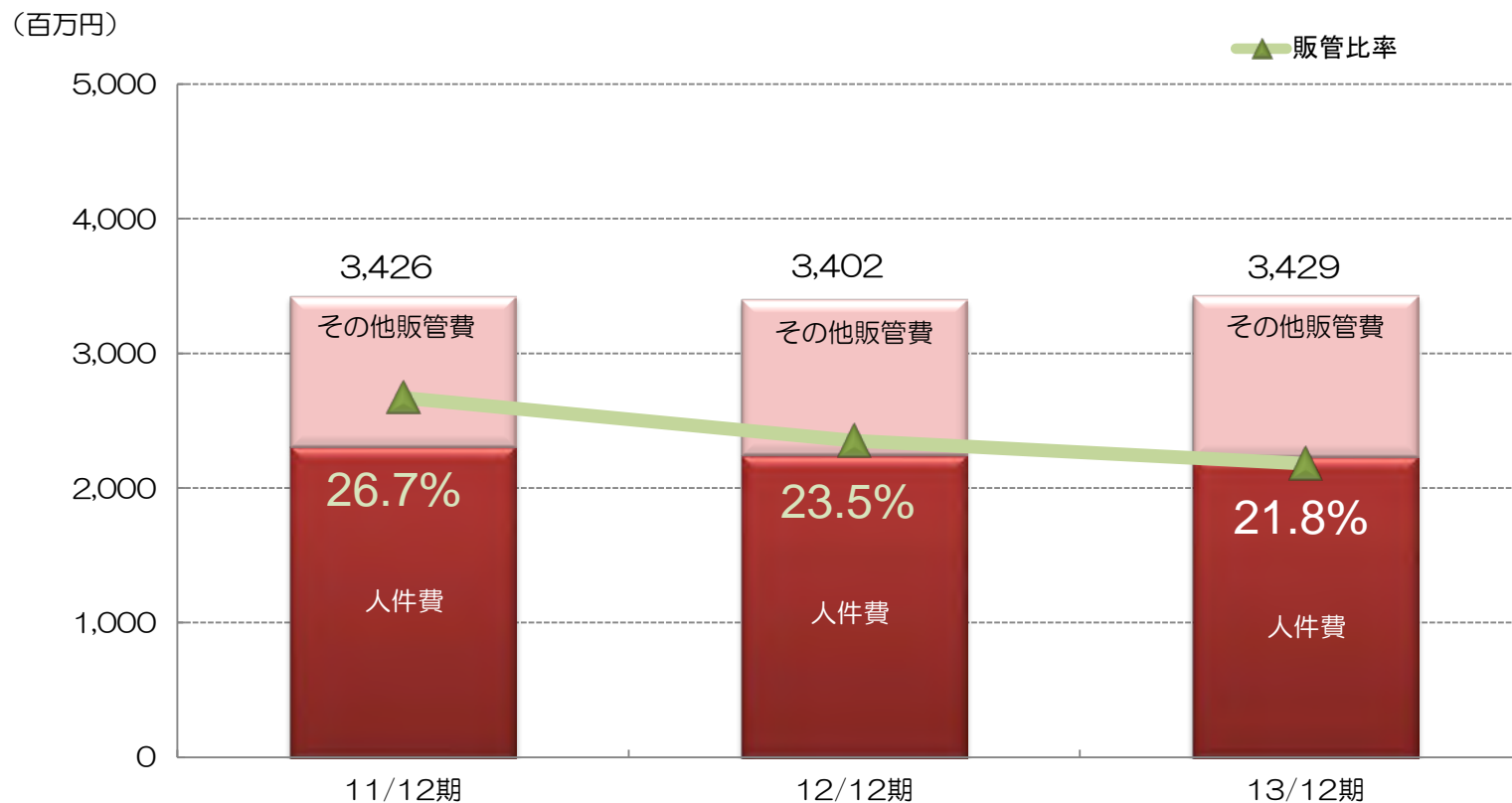
- ◆ 売上高は前期比8.6%増
- ◆ 売上高の伸長に加え、業務の内製化による売上原価率の圧縮等により、営業利益は13億9千6百万円を計上
- ◆ 経常利益は13億1千6百万円、当期純利益は9億6千4百万円を計上

(単位：百万円)

	12/12期	13/12期	増減	
売上高	14,464	15,703	1,239	8.6%増
営業利益	797	1,396	598	75.0%増
経常利益	823	1,316	493	59.9%増
当期純利益	759	964	205	27.1%増

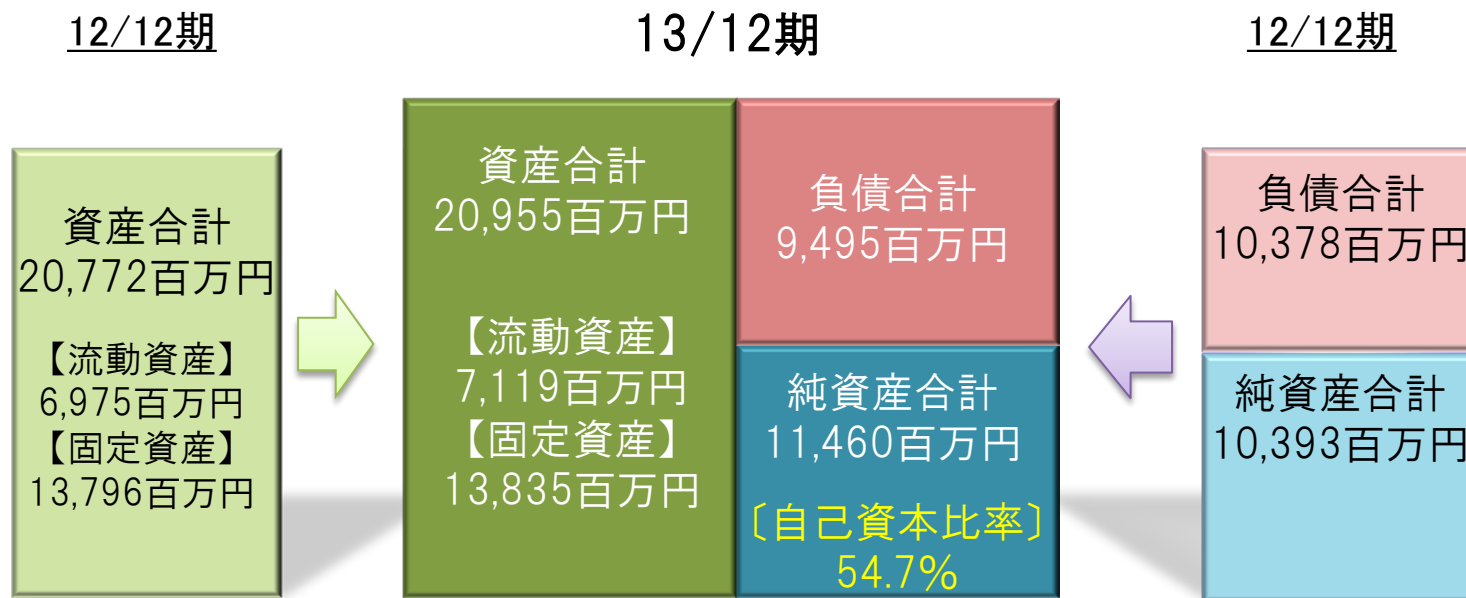
2-2. 販売費及び一般管理費の推移

- ◆ 販管費及び一般管理費は、ほぼ横ばい
- ◆ 人件費で1千2百万円の減少、その他販管費では3千9百万円の増加



2-3. 連結貸借対照表

- ◆ 資産合計は20,955百万円に増加
- ◆ 自己資本比率は54.7%と4.7ポイント上昇



< 3. 受注確保への取り組み >

- 3-1. 中期経営ビジョン (2013～2015)の概要
- 3-2. 2014～2016年の数値目標
- 3-3. イノベーションを担える人材づくり
- 3-4. 受注形態別受注高(単体)の推移
- 3-5. 重点事業分野等に関する取り組み事例

3-1.中期経営ビジョン（2013～2015）の概要

イノベーションによる技術革新・市場創生と経営の効率化

中期経営ビジョンの位置付け

連結売上高200億円、営業利益率10%を達成するための成長軌道への移行を目指す期間

3つの柱

1. これまでの技術開発の成果をもとにした市場創生・新規事業の展開
2. グローバル人材の育成
3. コーポレートガバナンスの強化

重点事業分野

- 震災復興・除染事業支援 ● 災害リスクに対する防災・減災
- 既存施設の維持管理に関する調査・計画・設計 ● 再生可能エネルギーの活用検討
- 外洋や遠隔離島の環境調査及び海洋資源探査に伴う環境・生態系調査
- 生物多様性の確保対策や自然再生
- 食品・医療・微量化学物質の分析やリスク評価・管理
- 気象・防災情報や健康天気予報の提供
- 海外における事業展開（海外拠点の設置）

3-2. 2014～2016年の数値目標

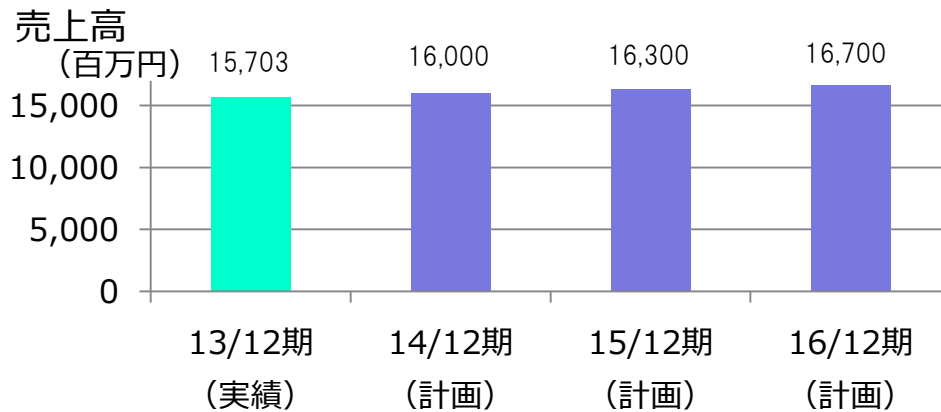
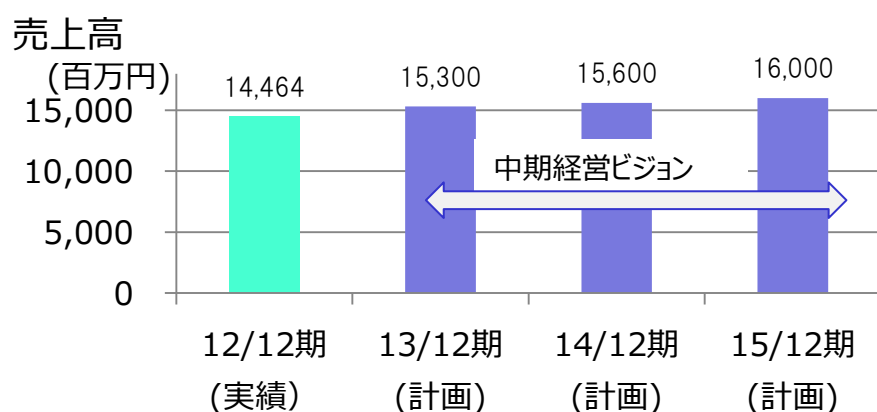
- ◆ 13/12期の売上高は約157億円、営業利益率は8.9%、当期純利益率は6.1%
- ◆ 2013～2015の数値目標を1年前倒しで達成

数値目標（2013～2015）

1. 連結売上高160億円
2. 営業利益率6%、
当期純利益率3%

数値目標（2014～2016）

1. 連結売上高**167億円**
2. 営業利益率**10%**、
当期純利益率**5%**



計画達成

ローリング

3-3. イノベーションを担える人材づくり

業務評定点の実績

区分	H22業務	H23業務	H24業務
全平均	75.5	76.3	76.4

表彰獲得業務数の実績

⇒ H24業務はすべての地方整備局から表彰を獲得

区分	H22業務	H23業務	H24業務
局長表彰	8	16	9
事務所長表彰	17	28	23
合計※	24	40	29

※ 局長表彰・事務所長表彰の重複を除く

技術士合格者数

区分	H22	H23	H24
総数	26	32	34
内新規合格	20	19	30

専門技術研修・資格取得研修等の成果

プロポーザル特定率向上
23.6%(H22)
⇒**37.0%(H25)**

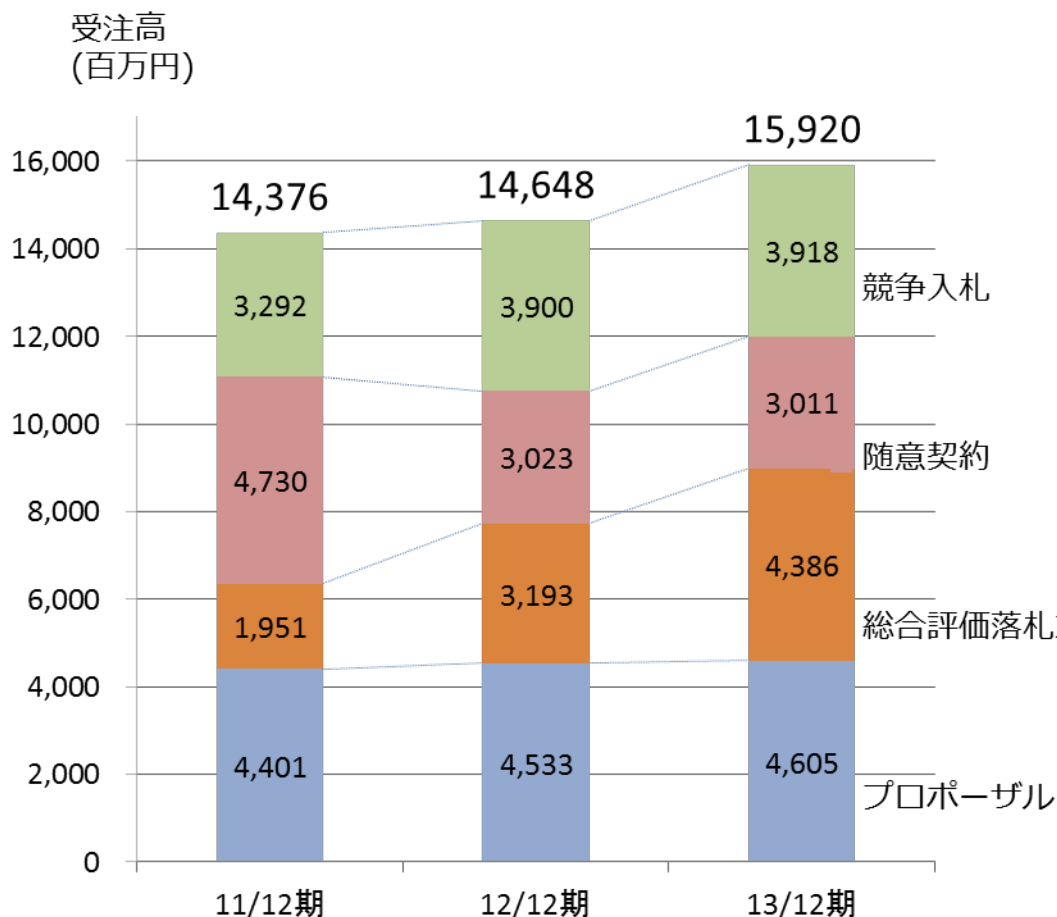
若手技術者による特定
(特定された業務の管理技術者の平均年齢)
48.7歳(H22)
⇒**46.4歳(H25)**

- ◆ 高付加価値業務確保
- ◆ 利益率の向上

3-4. 受注形態別受注高(単体)の推移

技術力及び提案力向上・技術開発による高付加価値化・選択と集中

▶ プロポーザル・総合評価落札方式での受注を重視



◆ プロポーザル・総合評価による受注額の増加

◆ 11/12期の随意契約は震災関係の緊急契約

約75%

3-5. 重点事業分野等に関する取り組み事例

3-5-1. 除染事業支援

3-5-2. 防災・減災対策

3-5-3. アセットマネジメント

3-5-4. 再生可能エネルギー

3-5-5. 海洋生態系・海洋環境

3-5-6. 民間事業

3-5-1. 除染事業支援

◆ 共同出資会社の設立 および 可搬型除染装置の開発

ジーフォーム(株)

- いであ、環境美研（技術特許）、醍醐建設など大田区企業3社が、土壌浄化、除染事業を行う共同出資会社として平成25年7月25日設立（資本金：1,500万円）

ランドセーバー（可搬型除染装置）

- 2t級トラックに自家発電機、プラント、タンク等を搭載した可搬型除染装置
- 除染地域から汚染土壌を回収・移送することなく、現地処理が可能
- 汚染土壌の減容化とともに、有害物の不溶出化により浄化土壌の再利用を図る

<処理能力> 1~2m³/日（一般戸建住宅敷地を1~2日で除染）

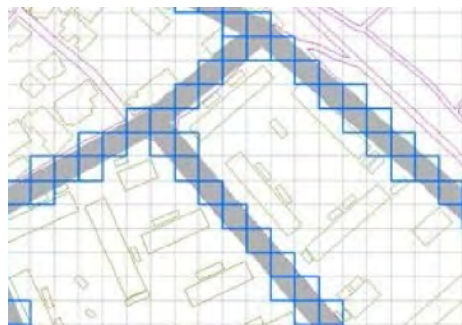
<除染効果> Cs134+Cs137 除去率：52~96% <減容効果> 減容化率：75~95%



写真：S市における現地実証試験実施風景

3-5-2. 防災・減災対策(非構造格子を用いたはん濫解析)

- ◆ 豪雨・洪水対策（浸水対策、治水事業計画、はん濫抑制施設計画、避難計画）立案のための的確なはん濫解析情報の提供



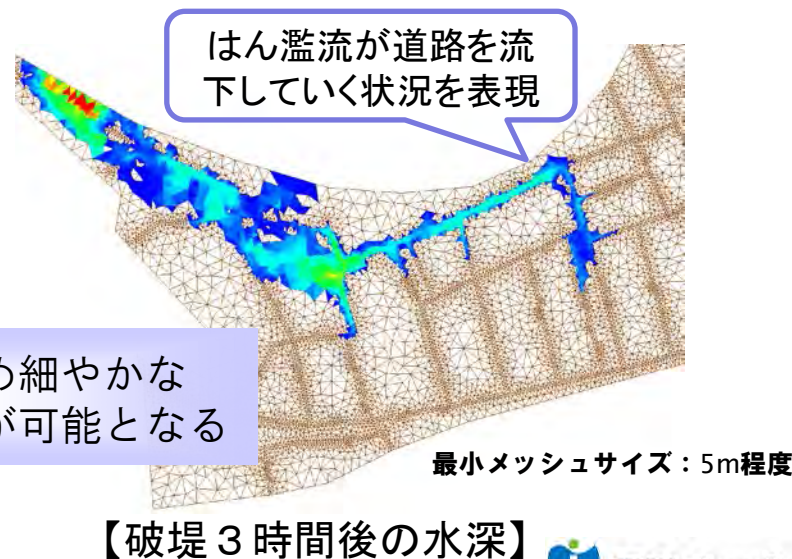
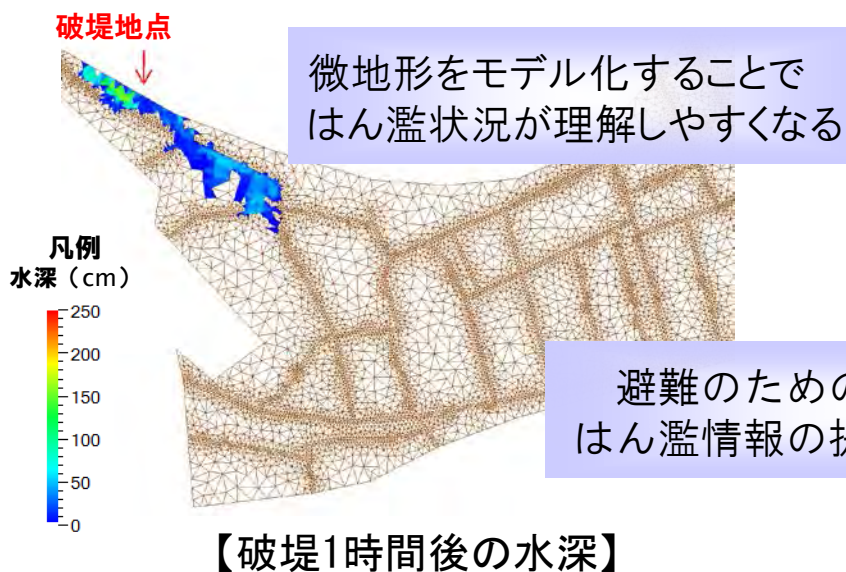
【構造格子】

構造格子では、複雑な地形を的確にモデル化することが困難

非構造格子では、複雑な地形を的確にモデル化でき、解析精度が向上する

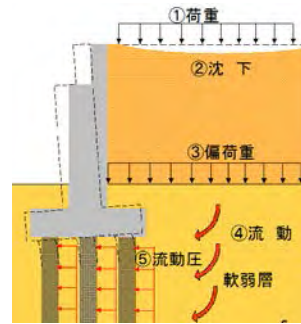
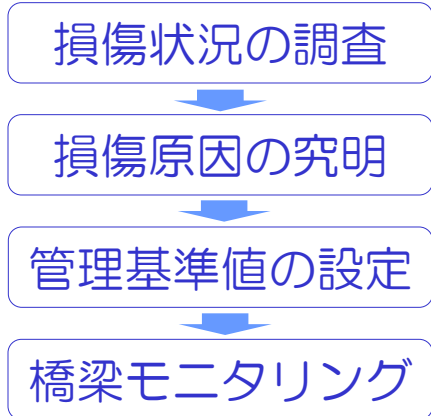


【非構造格子】

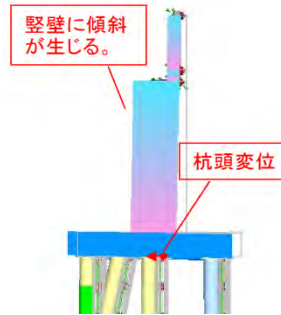


3-5-3. アセットマネジメント

◆ 橋梁の損傷原因究明と解析による管理基準設定、橋梁モニタリング



原因究明



解析による管理基準値設定



【橋梁モニタリングシステム】

- 変状部にセンサーを設置
- 常時計測と遠隔管理
- 異常計測値の警報メール送信

◆ MMS調査技術を活用した道路施設の維持管理手法の開発

【MMS調査技術】

- 道路を走行しながら周辺の3次元情報を取得



MMS : Mobile Mapping System



レーザー点群データからガードレールと損傷箇所を自動検出

3-5-4. 再生可能エネルギー

◆ 再生可能エネルギー導入推進への対応

風力発電等の円滑な導入促進のため、適切な環境調査・アセスメントが必要となります。また、海洋エネルギーなど新たなエネルギー源についての研究開発や実証試験等の業務が拡大されます。

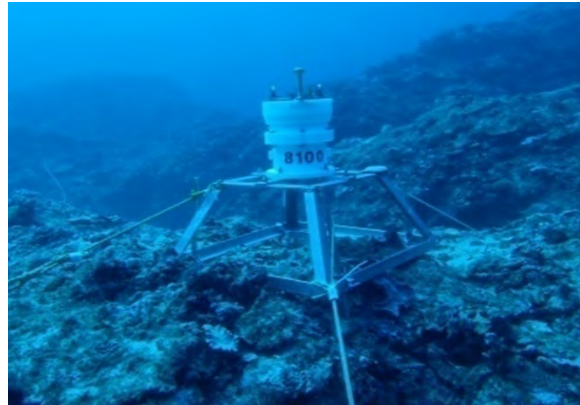
東海大学と波力発電施設の共同研究を実施



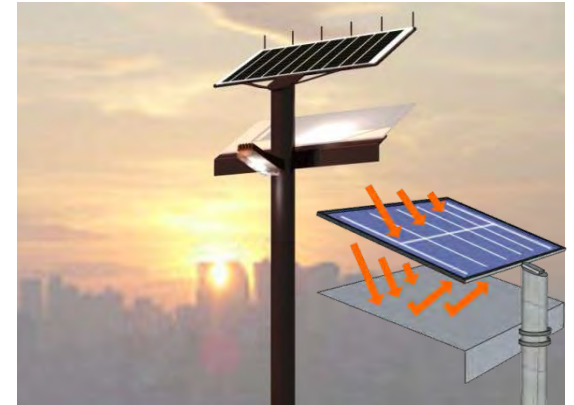
当社研究所に両面受光型太陽電池パネルを設置



風力発電事業における環境影響評価調査
(鳥類レーダー調査)



海洋エネルギー導入のための
実証海域選定調査(波のエネルギー調査)



自立型ソーラー街路灯
「エコサンライト」

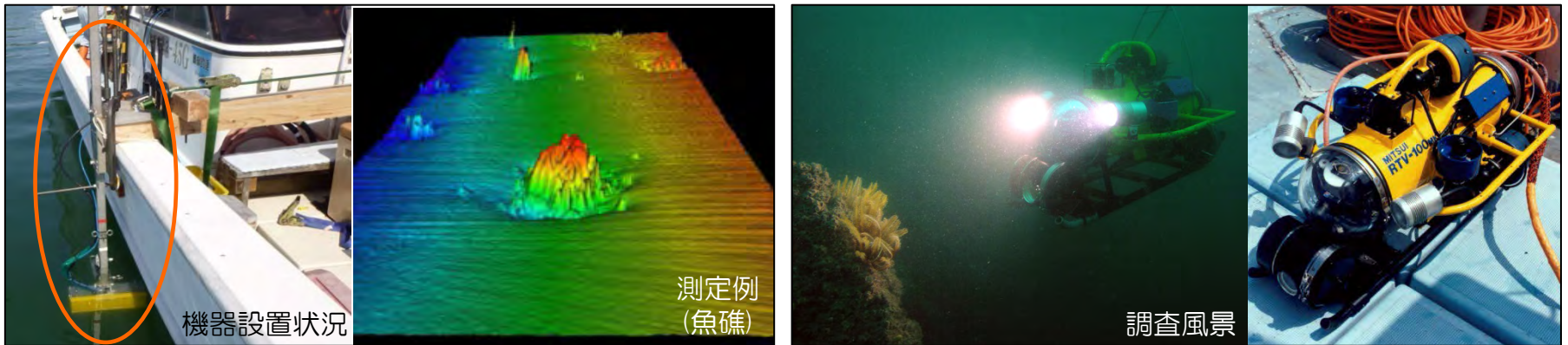
3-5-5. 海洋生態系・海洋環境

海洋生態系の保全及び研究 ～地球温暖化への対応～



亜熱帯環境研究所(沖縄県名護市)における海洋生態系保全に関する取り組み

海域環境の把握・調査 ～沿岸から外洋へ～



最新鋭の水中音響測深機器(ナローマルチビームソナー)

ROV(水中カメラロボット)

3-5-6. 民間事業

- ◆ 建設業法による特定建設業（とび・土工事業）登録による土壤汚染対策等への展開
⇒ 民間企業の工場移転等に係る土壤汚染対策工事の受注拡大を図る

土壤汚染対策工事

調査・分析～対策立案～工事実施
までの一貫受注が可能に



土壤汚染対策工事

アスベスト除去工事

調査・分析～撤去工事の受注が可能に



アスベスト撤去工事

< 4. 2014年12月期の計画 >

4-1. 2014年12月期決算予想

4-2. 期首繰越受注残高の推移

4-1. 2014年12月期 連結決算予想

- ◆ 売上高は約3億円増の160億円
- ◆ 営業利益14億3千万円、当期純利益8億7千万円

(単位：百万円)

	2014/12	2013/12 実績
売上高	16,000	15,703
営業利益	1,430	1,396
経常利益	1,430	1,316
当期純利益	870	964

4-2. 期首繰越受注残高の推移

◆ 期首受注残高は前期を約10億円上回る132億1千万円

(百万円)

